

持続的生産強化対策事業

2 地域の生産体制強化・需要創出事業

産地形成協働計画

(茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進)

策 定 年 度 : 令和 年度

事業実施主体名 :

都道府県名・市町村名 :

対象作物名 :

1 産地の現状（産地の状況、対象作物、取組実績、産地形成にあたっての生産、加工・調製、販売上の現状と課題等）

--

注1：本事業で対象とする地域特産作物の現状と課題、事業に取り組む目的等について記載すること。

注2：対象作物が薬用作物の場合は具体的な薬用作物名を記入すること。

2 成果目標

対象作物名	達成すべき 成果目標	現状値	取組初年度	取組2年度目	取組3年度目	目標年度	増減率
		（令和○年度）	（令和○年度）	（令和○年度）	（令和○年度）	（令和○年度）	（令和○年度）

注1：事業実施計画書における「達成すべき成果目標」を記入するとともに、目標年までの中間年について目安となる目標値を記入すること。

注2：目標は数値目標とすること。

注3：増減率は $((\text{取組年度}) - (\text{現状値})) \div ((\text{目標年度}) - (\text{現状値})) \times 100$ で算出すること。

3 実需者等の連携者

名称（ふりがな）	※（法人・団体・個人・その他） いずれかに○をつけてください。
所在地	
電話番号	
E-mail、HP アドレス	
主な実績、業務内容	

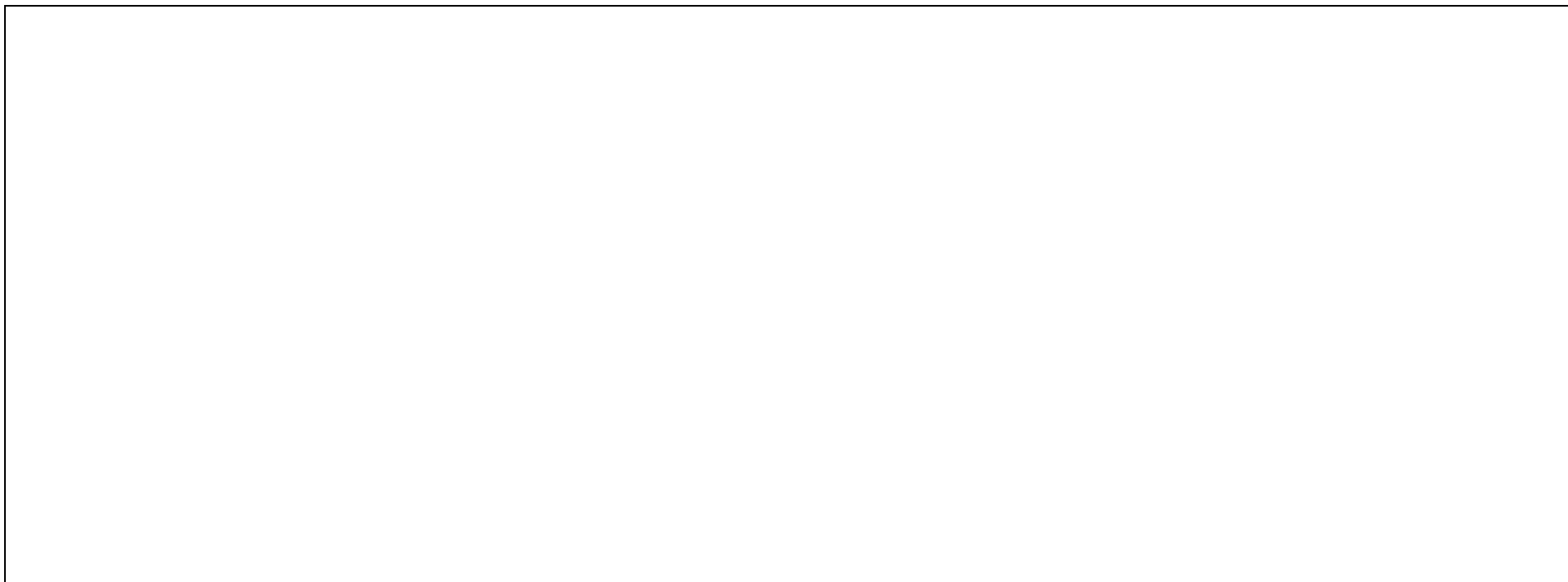
注１：産地と連携する実需者等（加工事業者、流通事業者を含む）を記入すること。

注２：実需者等が複数の場合は、適宜行を追加し記入すること。

4 事業実施主体

名称（ふりがな）	
所在地	〒
電話番号	
E-mail、HP アドレス	
主な業務実績、 業務内容	
事業実施主体の構成員、都道府県等地方公共団体、生産者団体等の関係者名（3 実需者等の連携者を除く）	

5 連携体制図



注 1：初年度において協働体制の検討や産地内の合意形成を行い、連携する実需者等を明らかにすること。

注 2：生産、加工・調製、需要・販路確保の各段階における関係者の役割分担が関係図等で分かるようにすること。

注 3：別添による作成も可。

6 年度別の取組計画

事業年度	取組の内容（概要）	備考
初年度 （令和〇年度）		
2年度目 （令和〇年度）		
3年度目 （令和〇年度）		
	※ 4年目以降の取組内容を記載しても構いません（任意）。	

注1：地域の現状と課題、連携する実需者等との役割分担及び実施体制を踏まえ、産地の目指すべき姿に即した成果目標の達成に向け、生産、加工・調製、需要・販路確保の各段階について、年度毎に計画的に行う取組を具体的に記入すること。

注2：初年度については、協働体制の検討や産地内の合意形成を踏まえて連携する実需者等を明らかにし、取組内容をより詳細に記載すること。

注3：茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進の事業内容及び事業計画を踏まえて記載すること。

注4：茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進の活用は、採択される場合にあっては最大3年間となることに留意すること。

注5：別添による作成も可。

7 期待される効果

注1：産地形成協働計画に基づく取組により期待される成果・効果について、説明文やグラフ等で具体的に記載すること。

注2：別添による作成も可。

8 補助事業等の活用見込み

例：○年度○○事業（県単）：○○活動支援

注：国及び地方公共団体の補助事業又は自己資金による施設整備の予定があれば記入すること。